

# 山形市 山寺駅近くの畑で住民ら 紅花の種まき 満開の花で彩りを



2026/04/17 朝刊 山形

日本遺産「山寺が支えた紅花文化」にちなみ、山寺を紅花で彩ろうと、地域住民らが13日、山形市のJR山寺駅近くの畑で種まきをした。初夏に立石寺五大堂から満開の紅花畑を見下ろせるよう、協力して栽培していく。

住民有志でつくる「山寺と紅花の会」（武田忠男代表）と「山寺紅花クラブ」（遠藤まき子代表）が2019年から取り組んでいる。

この日は両会や山寺観光協会婦人部などの計約30人と、山寺中の生徒10人が参加。山寺駅から東に約500メートル先にある畑約600平方メートルに、種まき機を使って「最上紅花」の種をまいた。同校3年後藤康佑さん（14）は「育てた紅花は学校にも飾られる。大きく育ててほしい」と開花が待ち遠しい様子だった。

今年はイノシシ対策として新たに、畑の南側に黒いシートを張った。参加者は今後も間引きや草取りなどに協力する。開花後に同駅から畑まで案内する看板を立てる予定で、武田代表（87）は「観光に合わせ、足を延ばして見に来てほしい」と話した。

（柴崎愛）